

## 音は瀧

本野櫻魚

- 25 連弾のごと瀧壺に時雨かな
- 24 ゐのししの脳つらぬけば刃に震へ
- 23 身を持たぬ檻樓の鳥威しや湖岸
- 22 剣鉦に主の癖や野分だつ
- 21 打つペグの音低くなり草の露
- 20 鳥をみる母待つ道や金木犀
- 19 秋天に三段のぼるグリコかな
- 18 終劇や音なく開扉され夜露
- 17 地下鉄の隅の拱手や秋湿り
- 16 三振を拍手で戻りゑのこ草
- 15 水澄むや妊婦座れるほどの岩
- 14 銀漢のみな亡人の眼めく
- 13 迷ひなく打ちたる飛車や原爆忌
- 12 狛牛のまなぶたに蟻這ひにけり
- 11 新道に神社あらはや蟬時雨
- 10 廃村に削蹄の跡夏深し
- 9 祭り抜け川に流せるもの探す
- 8 それぞれに臍のふかさや神輿来る
- 7 電話囲み出産をまつ海開き
- 6 白シャツを伸ばし鶏卵抱へをり
- 5 火夫は火に餌やる如く蟻を投ぐ
- 4 天瓜粉ほのと香れる葬儀かな
- 3 空箱へ蛾を歩ませて踏みにけり
- 2 中華屋の麦茶に揺るる油膜かな
- 1 初夏の鉄塔で街教へらる
- 26 衛星は北斗を掠め冬の山
- 27 鉞山の名残りをくだる山の狗
- 28 舂なる鷹の如くに放つこゑ
- 29 凍瀧の眼は閉ぢてゐて鳶の笛
- 30 梟鳴く此処も誰かの地平線
- 31 一本に百の十指や大綱引
- 32 精米のほのあたたかき淑気かな
- 33 海老天か若しくは鱈か寒に入る
- 34 往来はふたつの火事を比べをり
- 35 夜咄の火をととのへるとき閑か
- 36 悴みて吠え出しさうな影絵なる
- 37 寒晴れの紙の力士やつんのめる
- 38 横綱をごろりと投げて春たちぬ
- 39 張りたての弦慣らしつつ鳥雲に
- 40 鼻歌で譜面読みをり春の月
- 41 黒靴に吐しやの斑点ひな祭り
- 42 カンフーの距離探り合ふ楓の芽
- 43 海松潰れ舟引く跡となりにけり
- 44 しほみづに物言ひたげな浅利かな
- 45 ままごとに舩ふ仕草や春の庭
- 46 倒れ木はかしづく麒麟芽吹きつつ
- 47 島すこし周れば雨に鴨残る
- 48 門跨ぎ出でて遠のく音は瀧
- 49 アルバムに五つの旅や月涼し
- 50 風上にラヂオの家や夏布団